
「経皮内視鏡的胃瘻造設術後出血の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年1月1日から2024年4月30日までに埼玉医科大学病院総合診療内科で経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）を施行された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

食物の嚥下が難しい患者さんに対して経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）は広く行われていますが、抗血栓薬を服用している患者さんや透析患者における術後出血が増加し対応が課題となっています。今回、PEG後に出血を認めた患者さんの出血の様式や危険因子を検討します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年7月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

対象となる患者さんの診療記録や検査データのうち、年齢、性別、合併疾患、抗血栓薬の服用状況、血清A1b値、PEGの方法、PEG術中の出血、PEG後出血の時期・部位、対応方法、輸血の有無、抗血栓薬再開の時期を調べます。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である今枝博之が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

PEGを施行された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之（研究責任者）
- ・埼玉医科大学病院 総合診療内科 松本悠

- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 宮口和也
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 塩味理恵
- ・ 埼玉医科大学病院 消化管内科 都築義和
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 小林威仁
- ・ 埼玉医科大学病院 総合診療内科 中元秀友

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1829（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：経皮内視鏡的胃瘻造設術後出血の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化管内科 今枝博之